PART4 富国強兵・殖産興業・脱亜入欧

Chapter1　日本の産業革命＝殖産興業

目標
第一次・第二次産業革命の違いは何だろう？
資本主義の負の要素に対する動きを知ろう。

1　第一次産業革命（日清戦争前後）

松方正義

①**企業勃興**（1886～89年ごろ）→松方デフレの不況脱出
　鉄道・紡績を中心に**株式会社設立ブーム**が起こるが 1890年恐慌で挫折。
②**軽工業**の発達→**第一次産業革命**（蒸気力が動力）
　A　〔　　　　〕**業→綿糸**を生産
　　あ　手紡から**ガラ紡**へ（**臥雲辰致**が発明，1877年の第一回**内国勧業博覧会**で受賞）
　　い　欧米の機械紡績技術（イギリスのミュール紡績機・アメリカのリング紡績機）
　　う　**大阪紡績会社**（1882年設立・1883年開業，**渋沢栄一**ら）
　　　1890年　綿糸生産量が輸入量を上回る
　　　1897年　綿糸輸出量が輸入量を上回る
　B　〔　　　　〕**業→生糸**を生産
　　幕末以来欧米向け輸出産業として発達した**日本の最大の外貨獲得手段**
　　※ 1894年に〔　　　　〕**製糸**の生産量が**座繰製糸**の生産量を上回る。
③鉄道の発達
　A　民営〔　　　　　　　　〕**会社**（1881年，日本初の私鉄会社）
　B　官営　**東海道線**（1889年，東京～神戸間）
④海運の発達
　1885年　〔　　　　　　　　〕**会社**設立（郵便汽船三菱会社と共同運輸会社が合併）
　1893年　ボンベイ〔インド〕航路開設
　1896年　航海奨励法・造船奨励法
⑤重工業の勃興→ 1897年**金本位制**スタート（欧米から借り入れしやすくなる）
　日清戦争の賠償金の一部で**官営**〔　　　　〕**製鉄所**設立（1897年）→操業開始（1901年）
　※中国の**大冶鉄山**から鉄鉱石を輸入，石炭は福岡県の**筑豊炭田**を利用。

2 第二次産業革命（日露戦争前後）

①綿織物業の躍進→アジア向け

1897年 〔　　　　　　〕が蒸気力による**初の国産自動力織機**を考案

1909年 綿織物の輸出額が輸入額を超える

②生糸輸出の伸長→アメリカ向け

1909年 生糸輸出量が清を抜いて世界最大となる

③**重工業**の発達→**第二次産業革命**（〔　　　　〕**発電**も本格化）

A **三井**〔　　　　〕**炭鉱**（福岡県・熊本県）・**三菱高島炭鉱**（長崎県）

B 日本製鋼所（北海道室蘭市の民間企業）・芝浦製作所（東京府の電気機械企業）

C **三菱長崎造船所**（長崎県）・川崎造船所（兵庫県）

D 池貝鉄工所（東京府）がアメリカ式旋盤の国産化に成功

④鉄道の発達→鉄道国有法（1906年，第一次西園寺公望内閣）

⑤〔　　　　〕の形成→**政商**が成長し**持株会社**を中心に結合した巨大コンツェルン

〔　　　　〕**・三菱・**〔　　　　〕**・安田**・古河・浅野・川崎・大倉など

3 社会運動の発生

1908年に〔　　　　〕**詔書**が出され，1909年には**地方改良運動**がスタート。

①**農民運動**→**小作農**が**小作争議**を起こし〔　　　　〕**地主**と対立

②**労働運動**→**労働者**が**労働争議**を起こし**資本家**と対立

A **高野房太郎・片山潜**による〔　　　　　　　　　　〕結成（1897年）

B 〔　　　　　〕（1911年制定，16年施行）→都市には**スラム**〔貧民窟〕が存在

③**社会主義運動**→ 1900年制定の〔　　　　　　〕**法**で取り締まる

1901年 〔　　　　　　　　〕→初の社会主義政党（非合法）

1906年 **日本社会党**→初の合法的社会主義政党

1910年 〔　　　　〕**事件**→翌 11年に無政府主義者**幸徳秋水**らが処刑される

④その他→〔　　　　　　〕**鉱毒事件**（**田中正造**らが告発した**初の公害事件**）

田中正造

> まとめ
> 第一次産業革命で軽工業，第二次産業革命で重工業が発展した。
> 資本主義の負の要素を是正するために，数々の社会運動が起こった。

Chapter2　条約改正＝脱亜入欧

目標
明治政府最大の国家目標を理解しよう。
条約改正が達成できた最大の要因は何か考えてみよう。

1　条約改正の目的と成功の要因

鹿鳴館

①［　　　　　　　］の目的→「脱亜入欧」

Ａ　**最恵国待遇の相互平等化**

Ｂ　**治外法権〔領事裁判権〕の撤廃**→法権回復

Ｃ　**関税自主権の回復〔協定関税制の撤廃〕**→税権回復

②条約改正の成功要因

Ａ　近代産業の発達による国力の充実→「富国強兵」「殖産興業」

Ｂ　**日清・日露戦争の勝利による国際的地位の向上**

Ｃ　欧米同様の法典の整備

2　条約改正の経緯

①［　　　　　　　］（1872～73年，右大臣・公家）→使節団での予備交渉に失敗

②**寺島宗則**（1876～79年，外務卿・薩摩）

国別交渉による税権回復をめざす。

※アメリカの同意を得たものの，イギリス・ドイツらの反対で失敗。

③［　　　　　］（1882～87年，外務卿のち外務大臣・長州）

一括交渉による法権回復・税権の一部回復をめざし極端な**欧化政策**（＝［　　　　　］外交）を展開するも，［　　　　　　　　　　　］**事件**（1886年）を契機に三大事件建白運動（1887年）が起こって失敗。

※改正の代償として，**外国人判事の任用・外国人の内地雑居・欧米同様の法典整備〔法典予約〕**を秘密裡に容認したことが暴露される。

④**大隈重信**（1888～89年，外務大臣・肥前）

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復をめざす。**外国人判事の任用を大審院に限る**こと以外は井上案を踏襲し，メキシコ・アメリカ・ドイツ・ロシアの同意を得たが，爆弾テロに遭い失敗。

ノルマントン号

⑤**青木周蔵**（1889～91年，外務大臣・長州）

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復，最恵国待遇の相互平等化をめざす。外国人判事を任用せず外国人の内地雑居はほぼ認め，イギリスがほぼ同意を示すが**大津事件**で辞職（1891年)。

⑥榎本武揚（1891～92年，外務大臣・幕臣）

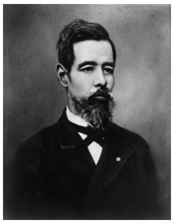
過去に樺太・千島交換条約締結（1875年）などロシアとのパイプがあったことから，日露関係の改善に努める。

⑦〔　　　　　　　　〕（1892～94年，外務大臣・紀伊）

法権回復と税権の一部回復，最恵国待遇の相互平等化をめざす。青木案を踏襲し，駐英公使となった青木の活躍で**イギリスの同意を得る**。

※第五・六議会では対外硬派連合〔硬六派〕が政府の内地雑居案を軟弱外交と非難，現行条約励行を唱え対立。

※日清戦争直前，イギリスと**日英通商航海条約**を締結（**1894年**，第二次伊藤博文内閣）し，**法権回復**と最恵国待遇の相互平等化を達成。有効期限 12年，５年後の 1899年より発効。代償として外国人の内地雑居を認める。



陸奥宗光

小村寿太郎

⑧〔　　　　　　　　　　〕（1908～11年，外務大臣・飫肥）

税権の完全回復をめざしつつ日清・日露戦争に連勝。列国の反対が少なくなった状態で新条約満期を迎える。

※アメリカと**改正日米通商航海条約**（**1911年**，第二次桂太郎内閣）を締結し，**税権回復**＝条約改正を完全に達成。

まとめ　明治政府最大の国家目標は，江戸幕府が締結した不平等条約の改正。
改正達成の最大要因は，日清・日露戦争勝利による国際的地位の向上。

第５講　PART4　確認問題

1　ガラ紡と呼ばれる紡績機を発明した人物はだれか。

①　豊田佐吉　　②　高野房太郎
③　臥雲辰致　　④　渋沢栄一

2　1880年代の企業勃興の契機となった，渋沢栄一によって設立された会社はどれか。

①　日本鉄道会社　　②　八幡製鉄所
③　富岡製糸場　　④　大阪紡績会社

3　岩崎弥太郎が創立した商会を基盤とする財閥はどれか。

①　住友財閥　　②　三井財閥
③　三菱財閥　　④　安田財閥

4　労働組合期成会を結成した人物の組合せとして正しいのはどれか。

①　高野房太郎・片山潜　　②　高野房太郎・田中正造
③　片山潜・田中正造　　④　片山潜・臥雲辰致

5　大逆事件で起訴され，処刑された人物はだれか。

①　幸徳秋水　　②　片山潜
③　田中正造　　④　高野房太郎

6 寺島宗則がすすめた条約改正に同意した国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ ドイツ　④ アメリカ

7 井上馨に関連あるのはどれか。

① 岩倉使節団　② 最恵国待遇の相互平等化
③ 鹿鳴館外交　④ 国別交渉による税権回復

8 大津事件で辞職した外務大臣はだれか。

① 青木周蔵　② 井上馨
③ 榎本武揚　④ 大隈重信

9 日清戦争直前の 1894 年に結ばれ，法権回復が盛り込まれた条約は何か。

① 日英通商航海条約　② 日英同盟
③ 改正日米通商航海条約　④ 日米和親条約

10 日露戦争後に税権回復に成功した外務大臣はだれか。

① 陸奥宗光　② 青木周蔵
③ 大隈重信　④ 小村寿太郎

第 5 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③

1877 年の第一回内国勧業博覧会で受賞した。

①：初の国産自動力織機を考案した。
②：労働組合期成会を結成した。
④：大阪紡績会社を設立した。

2 解答：④

大阪紡績会社は，渋沢栄一らが華族・政商などの出資を得て 1882 年に設立した。

①：日本初の私鉄会社として，1881 年に設立された。
②：官営の製鉄所として，1897 年に設立された。
③：官営模範工場として，1872 年に設立された。

3 解答：③

三菱財閥は三菱商会を基盤とし，その後，保険・海運のほか，造船・炭鉱など重工業部門にも進出した。

①：江戸時代の銅商・両替商の住友家に発する財閥。
②：江戸時代の両替商である三井家に発する日本最大の財閥。
④：江戸時代末の両替商の安田家に発する財閥。

4 解答：①

労働組合期成会は 1897 年に結成されたが，1900 年制定の治安警察法による弾圧で衰退し，翌年に解消した。

②：田中正造は足尾銅山鉱毒事件を告発した。
③：田中正造は足尾銅山鉱毒事件を告発した。
④：臥雲辰致はガラ紡を発明した。

5 解答：①　幸徳秋水は無政府主義を主張した。

②：労働組合期成会を結成した。
③：足尾銅山鉱毒事件を告発した。
④：労働組合期成会を結成した。

6 解答：④　寺島宗則は，国別交渉による税権回復を目指した。

①：反対した。
②：反対した。
③：反対した。

7 解答：③　鹿鳴館外交は極端な欧化政策であった。

①：岩倉具視に関連がある。
②：青木周蔵や陸奥宗光と関連がある。
④：寺島宗則に関連がある。井上馨は一括交渉による法権回復・税権の一部回復を目指した。

8 解答：①　大津事件とは，訪日中のロシア皇太子（のちのニコライ２世）を警備中の巡査が暴行した事件。

②：鹿鳴館外交を展開するも三大事件建白運動が起こり，条約改正に失敗した。
③：日露関係の改善に努めた。
④：国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復を目指した。

9 **解答：①**

日英通商航海条約は，第二次伊藤博文内閣時に締結された。

②：1902 年に結ばれた。
③：1911 年に結ばれ，税権回復を達成した条約。
④：1954 年に結ばれ，日本が開国した条約。

10 **解答：④**

小村寿太郎は，1911 年にアメリカと改正日米通商航海条約を締結し，税権回復（条約改正）を完全に達成した。

①：日清戦争直前に法権回復に成功した。
②：大津事件で辞職した。
③：爆弾テロに遭い，国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復に失敗した。